

令和3年3月8日

第5学年保護者各位

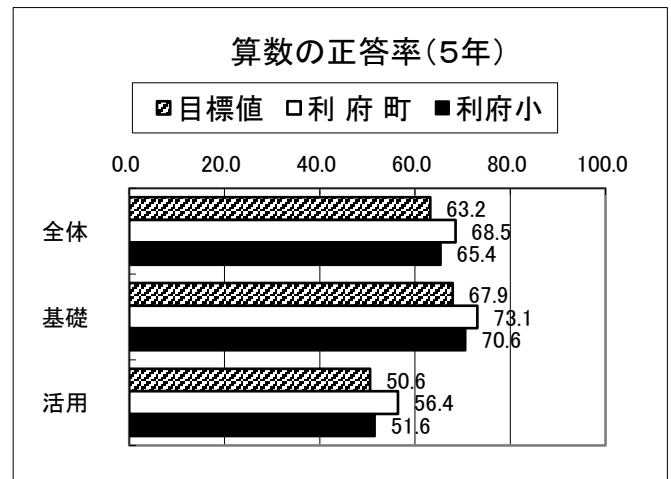
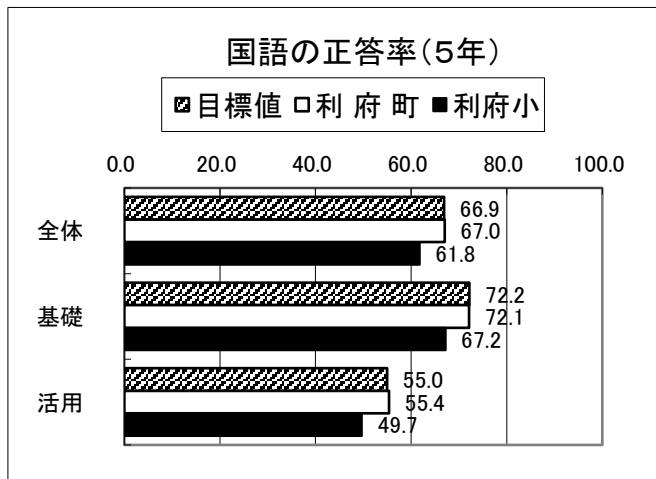
利府町立利府小学校

令和2年度 利府町標準学力調査の結果とこれからの取組（5学年）

1月に行われた利府町標準学力調査の結果についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取組方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

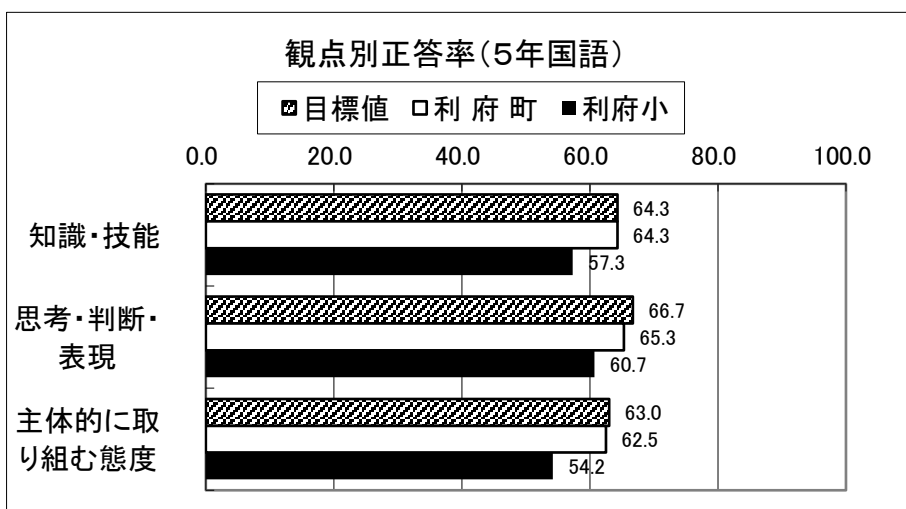
5学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- 国語については、全体で5.1ポイント目標値を下回っています。基礎では5.0ポイント、活用では5.3ポイント目標値を下回っており、身に付けた基礎を生かして問題を解決する活用力が不十分であることが表れています。
- 算数については、全体で2.2ポイント目標値を上回っています。基礎では2.7ポイント、活用では1.0ポイント目標値を上回っていることから、学習内容が身に付いていることが分かりました。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

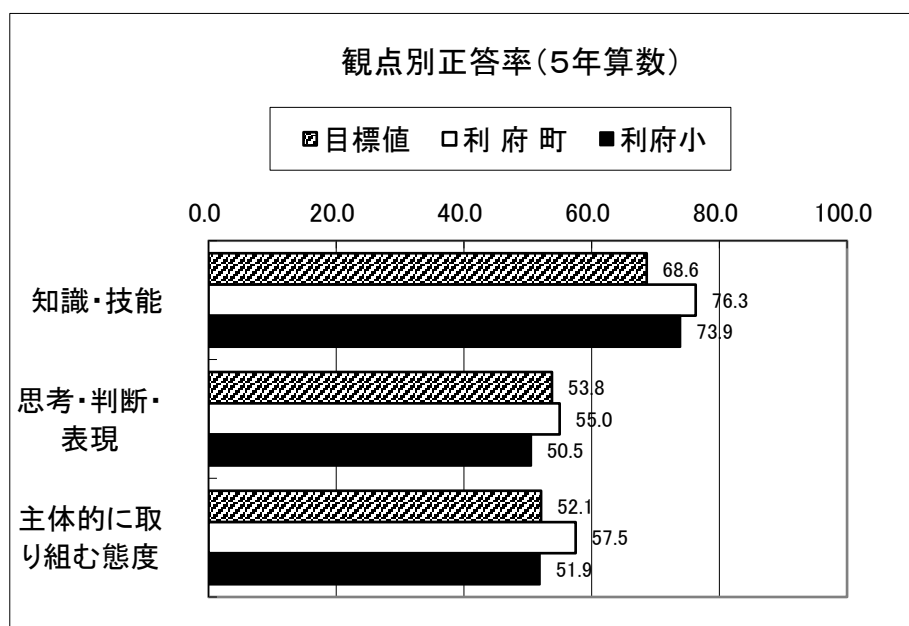


- ◎ 話し手の意図や工夫を考えながら、話し合いの内容を聞く問題がよくできていました。
- ◎ 第5学年の配当漢字を読む問題の正答率が高くなっていました。
- 指定された文字数や2段落構成で文章を書く問題の正答率が低くなっていました。
- 第4学年の配当漢字を書く問題の正答率が低くなっていました。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



◎ 小数のかけ算やわり算の問題の正答率が高くなっていました。

◎ 3辺の長さを使って、合同な三角形を作図する問題がよくできていました。

◎ 図形の角の大きさを求める問題がよくできていました。

● 奇数についての理解度が低く、整数のなかま分けの問題の正答率が低くなっていました。

● 平均から、全体の量を推測する問題の正答率が低くなっていました。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率(%)

全て正解の場合は100%になります。「あなた」の欄のお子さんの数値と目標(到達してほしい数値)を比較しておおよその目安としてください。

右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲は、内容が十分に身に付いていないことを表します。

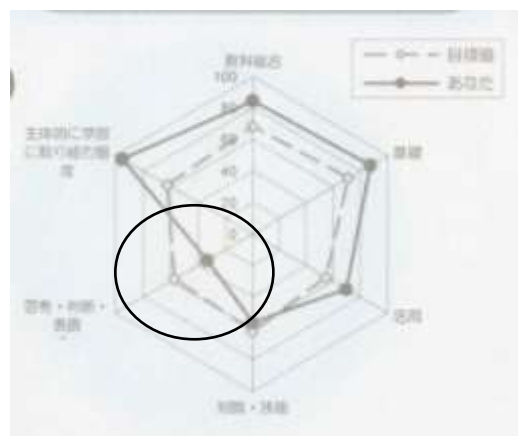
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校5年 算数

問題の内容	正答率(%)		評価
	あなた	目標値	
分数と小数	80.0	82.5	○
合同	87.5	77.9	◎
体積	65.4	81.4	▲
▲の評価である「体積」の学習が十分に身に付いていないことが分かります。			
総合	78.5	79.5	○

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値(○の中の部分)は目標に届かなかったことを表します。